

囲碁のルールと醍醐味

～囲碁部を取材して～ 坂口益美 令和1年9月14日

先日、小枝先生と共に囲碁部の取材に参加させていただきました。
場所はハイハイタウン地下一階にあるハイハイ囲碁クラブです。

囲碁と聞くと、なんだか難しそう・・・初心者には無理・・・と思いませんか？ 私は小さいころ父に囲碁を教わっていたのですが、対局をするのは約10年ぶりだったので、打ち方を忘れてしまっているのではないかと心配していました。

でも、囲碁のルールは実はとても単純なので、すぐに思い出すことができました。



ここでちょっと簡単に囲碁のルールを説明します。

囲碁の勝負は盤上の陣地を相手より多くとることで勝ちになります。陣地を囲うためには碁石を使います。黒石、白石が互いに石を交互に打ち陣地を囲っていきます。なんとなくイメージができましたか？

もうひとつ大切なルールとして、自分の石を相手の石に囲まれると自分の石が死んでしまい、相手に取り上げられてしまいます。取り上げられた石は最終的に陣地の数を数える際に自分の陣地からマイナスされてしまいます。

ちょっと難しく感じるかもしれません。

でもこのルールがあってこそ囲碁は面白いゲームなのです。

つまり、相手の陣地に入って行っても、深入りすると死んでしまったり、また相手の弱い石を攻めながら自分の陣地を広げたりすることができます。



囲碁は広い盤上の中で、攻めたり守ったり、石同士の戦いが勃発したり、相手の出方を讀んだりしながら、自分の陣地の模様をどのように広げていくのかイメージして進めていくゲームなのです。





今回、囲碁部に参加させていただいた私は1勝3敗でした。対局相手を買って出てくださった石田先生、山田先生、羽賀先生、高島先生、ありがとうございました。久しぶりに対局ができてとても楽しかったです。勝つうれしさと、負けるくやしさを思い出しました。(特に私が負けず嫌いだったということを思い出しました。)



またお邪魔をしたいと思います。
ありがとうございました。